



理奈
おへそ触らせてよ!

トドロキくん
またあ?
もお...いいけどお...

理奈、おへそ

え?
今日も...?

理奈...!
へそを...

ちよっ...
きつく
いじらない
で...!

理奈!

理奈...



理奈…



なっ…

RESTAURANT NAVEL

なに…
こし…





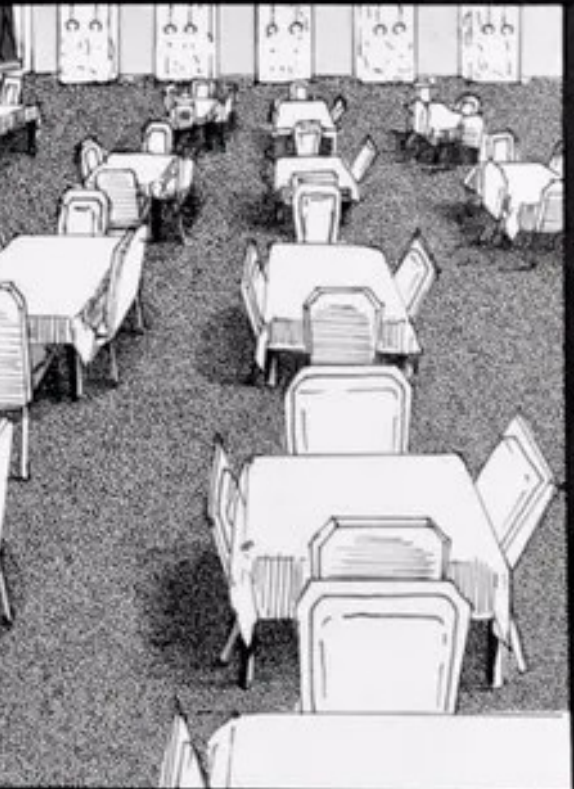
理奈
今日は俺のおごりー！

えー！
いいの？
こんなに
高そうなどー…

いーいーいーの



ひろーい！
いい雰囲気ね…





君だよ

いや

どんなお料理
かなあ
楽しみ〜♪



へっ?
なにっ...?



ルン



理奈...
俺を恨むなよ...



ねえ、どう
いうこと？



私が…
料理って…



ふむ…

やはり
良いへそだ…



程よい肉付きに脂
色、ツヤ、キメ…
シワ、マメ、臭い…
形もふつくらとした
丸型…
ランク5は
間違いない…

へっ…？



ちゃんとした
自己紹介はまだ
だったな…



俺は…



パサ…

俺の名は

稲妻トドロキ

人間のフリをしていたが

ま、俗に言う「雷様」

ってやつさ…

上質なへそ肉を

直接収穫し、

本当に美味なへそを

選りすぐってお客に提供する

こちらの世界の大手

レストランの代表をしている…



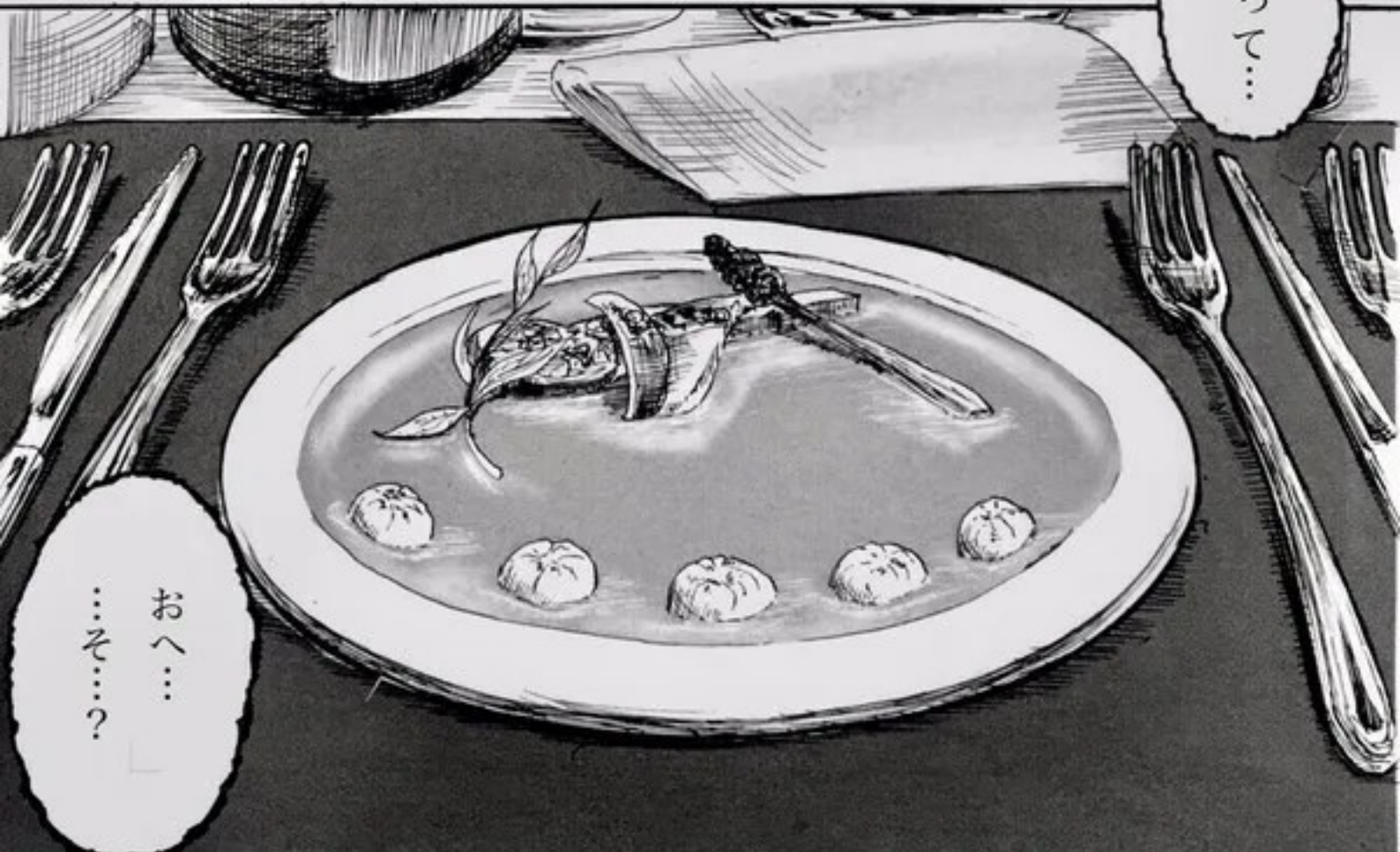




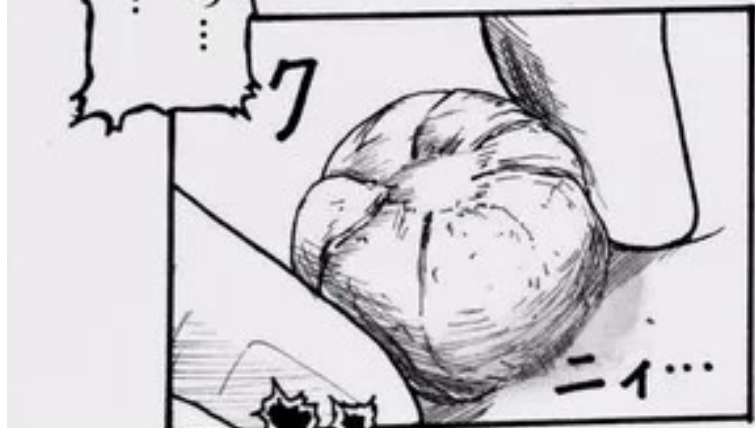
お待ち
いたしました

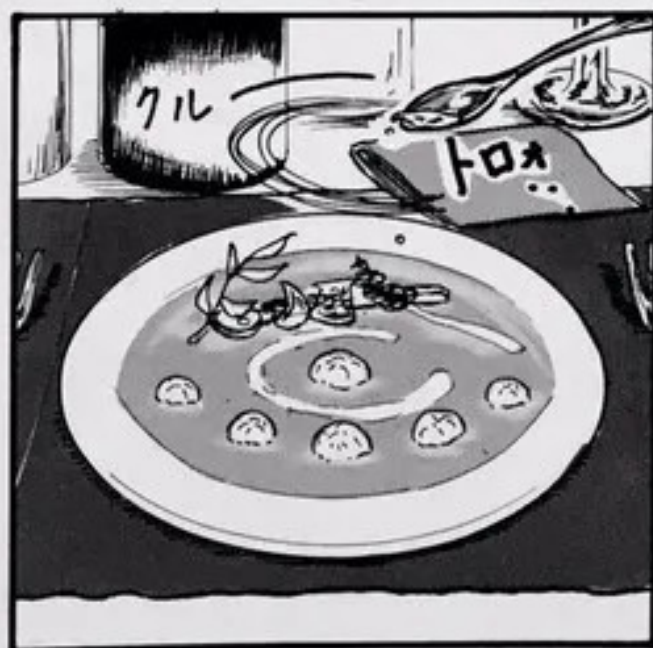
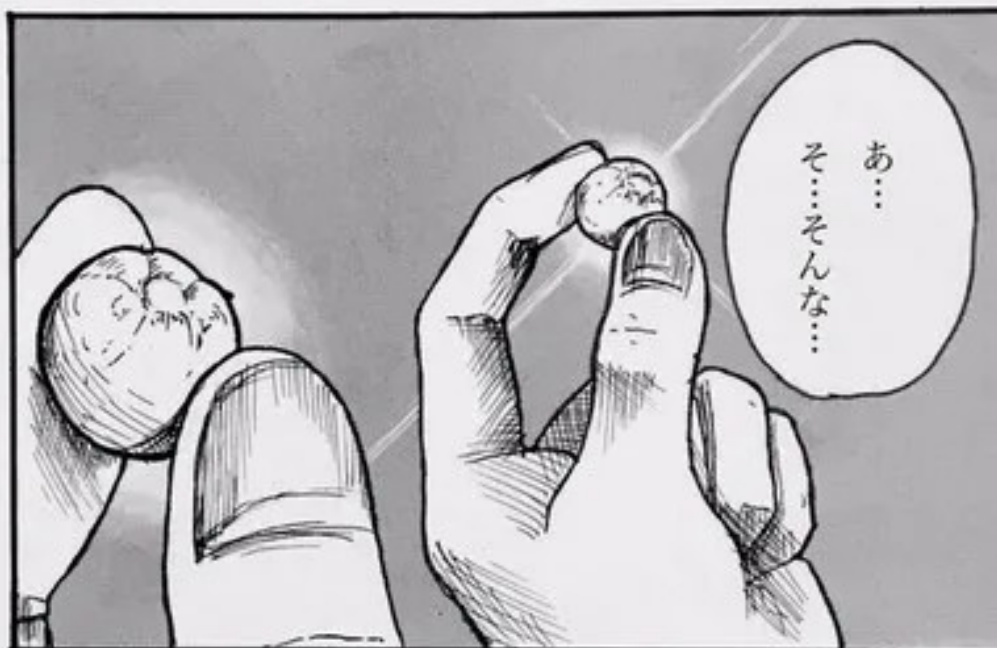
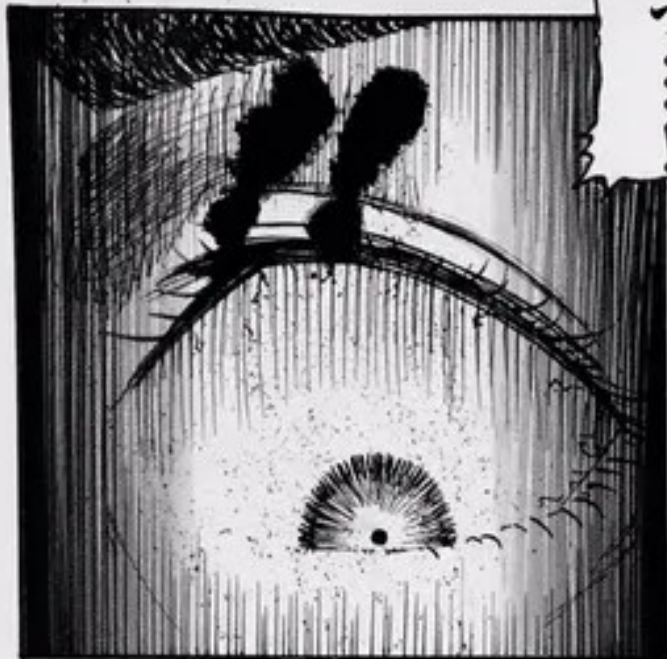


あれって...



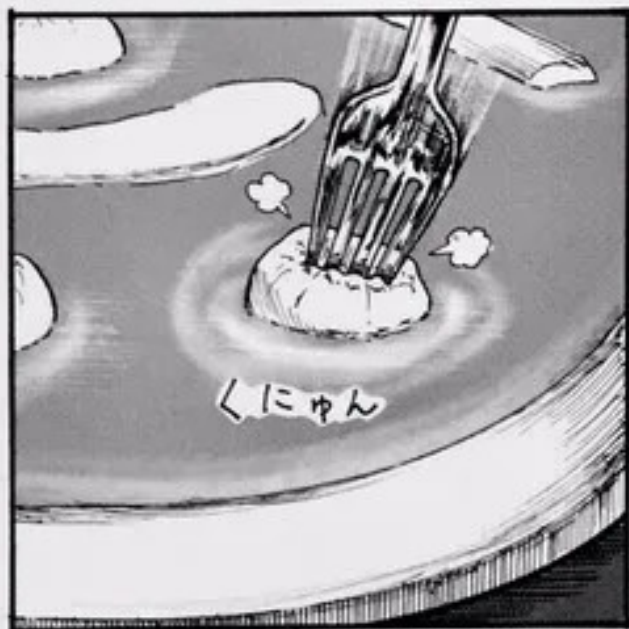
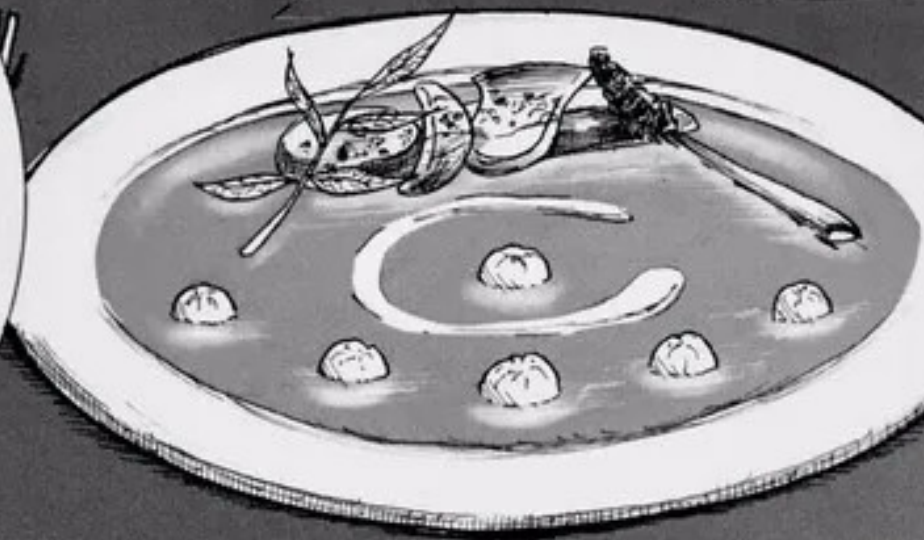
おへ...
...そ...?

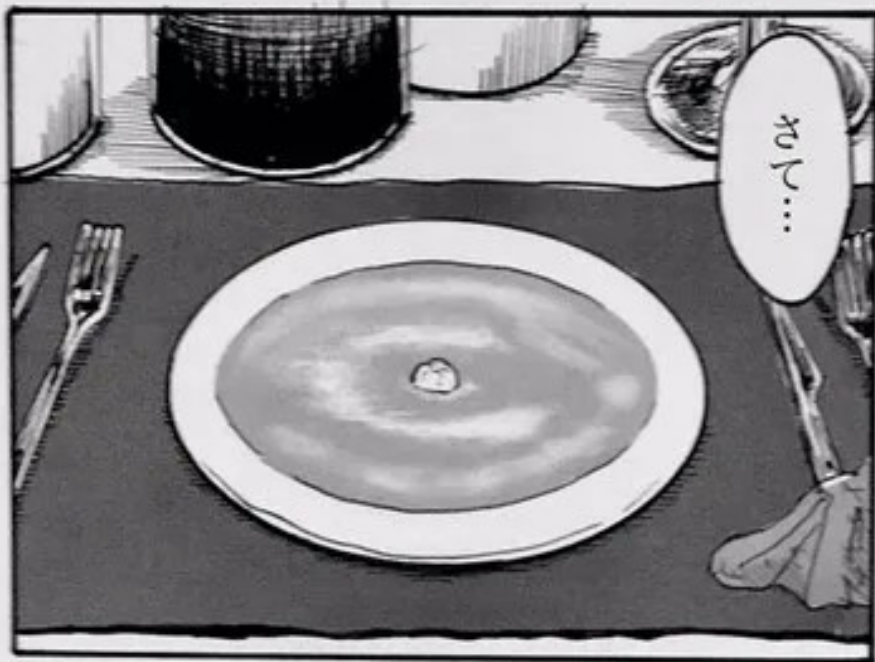




どうぞ
取れたてのへそを
たっぷり使い

生臍と臍のソテーを
トマトクリームに
合わせました







えっ…
なに…



彼が
咀嚼する度に…
ズキズキ…

もぐ

もぐ



もう
そこにはいはずの
おへそ…

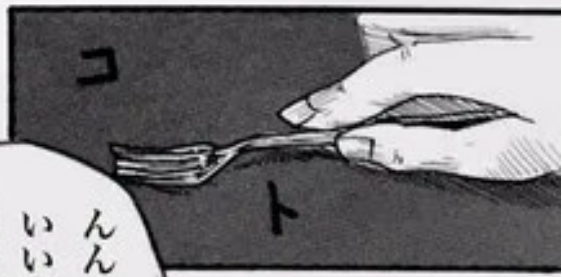


味も申し分ない…

お…へ…そ…



私の…

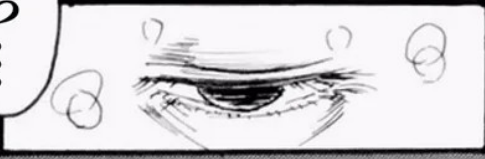


んん…
いい歯ごたえと
舌の上で解ける
滑らかさ…



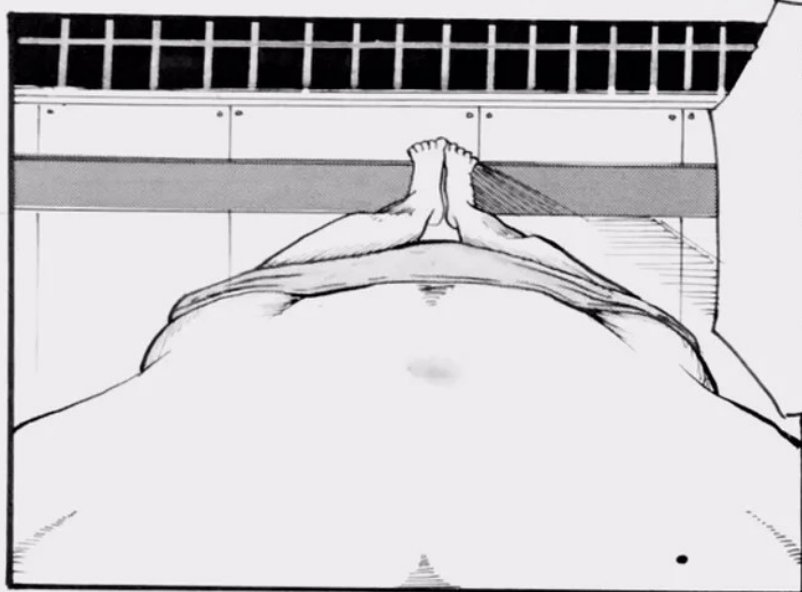
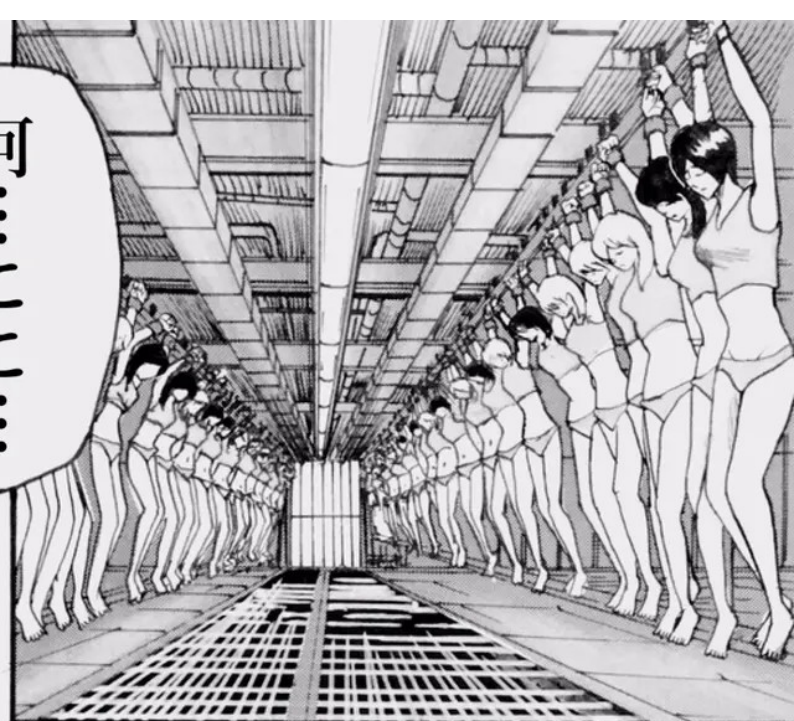


んっ…





何……こ……



私のおへ……そ……



そ、そうだ！



にしても……



夢じゃなかった……

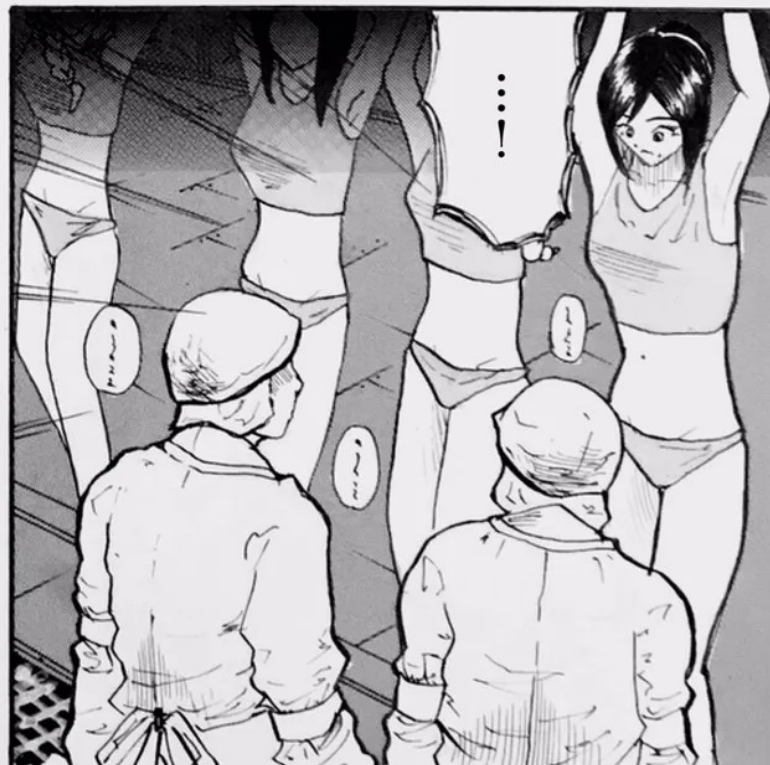
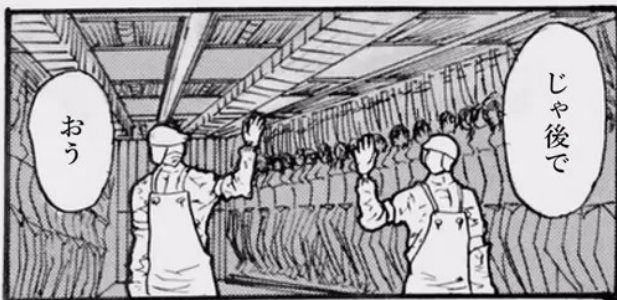


奥の子達には
あるみたい……



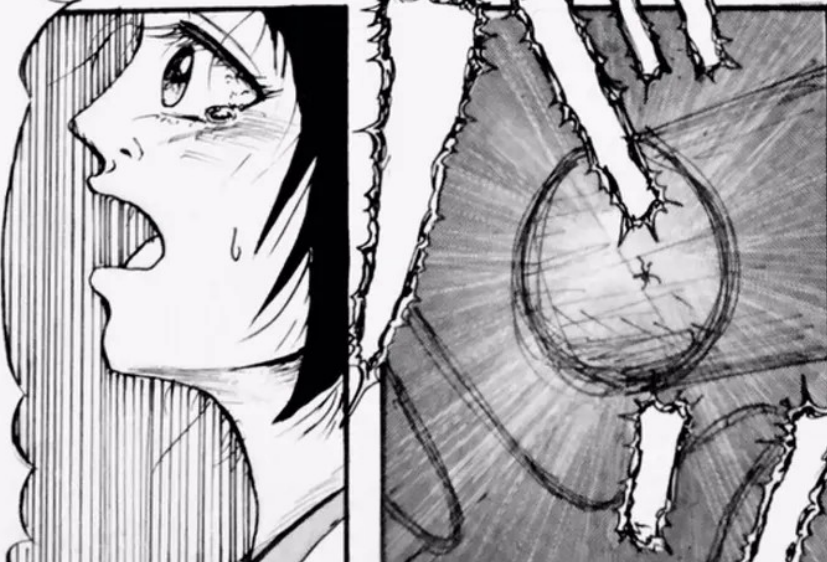
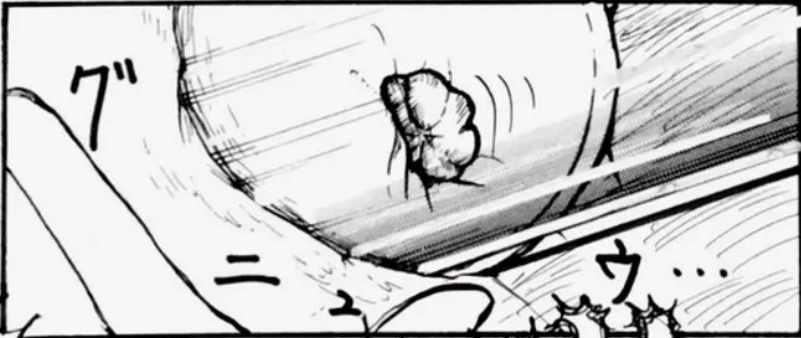
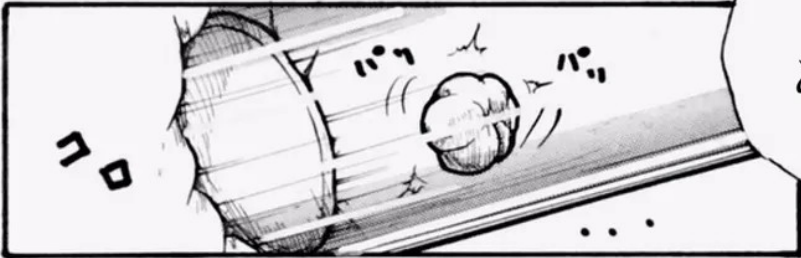
手前の子には
おへそがないけど……

こんなにたくさん
女の子達……

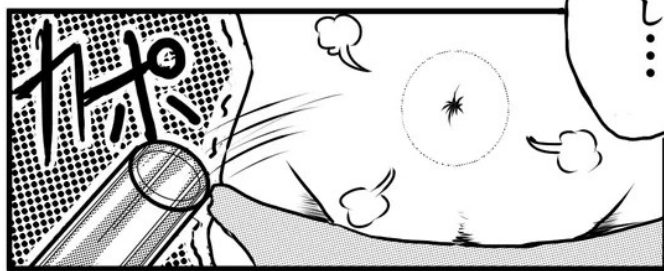
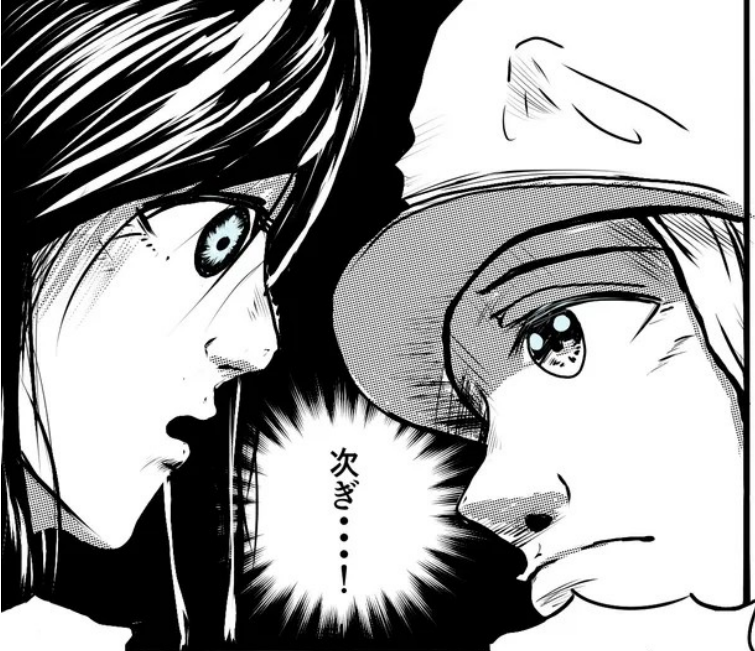




あ...あ...



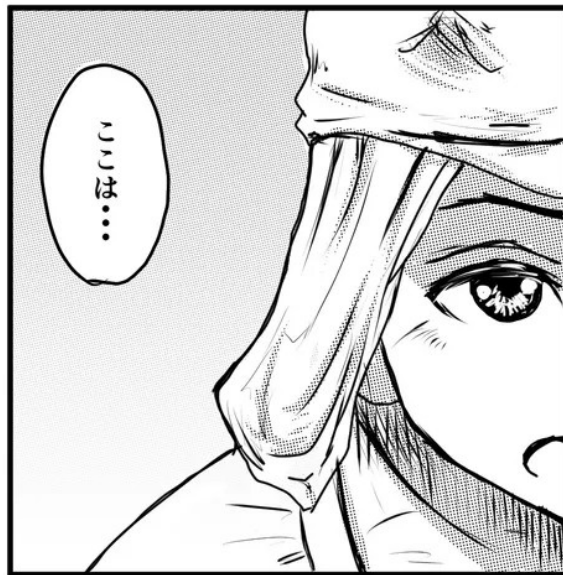
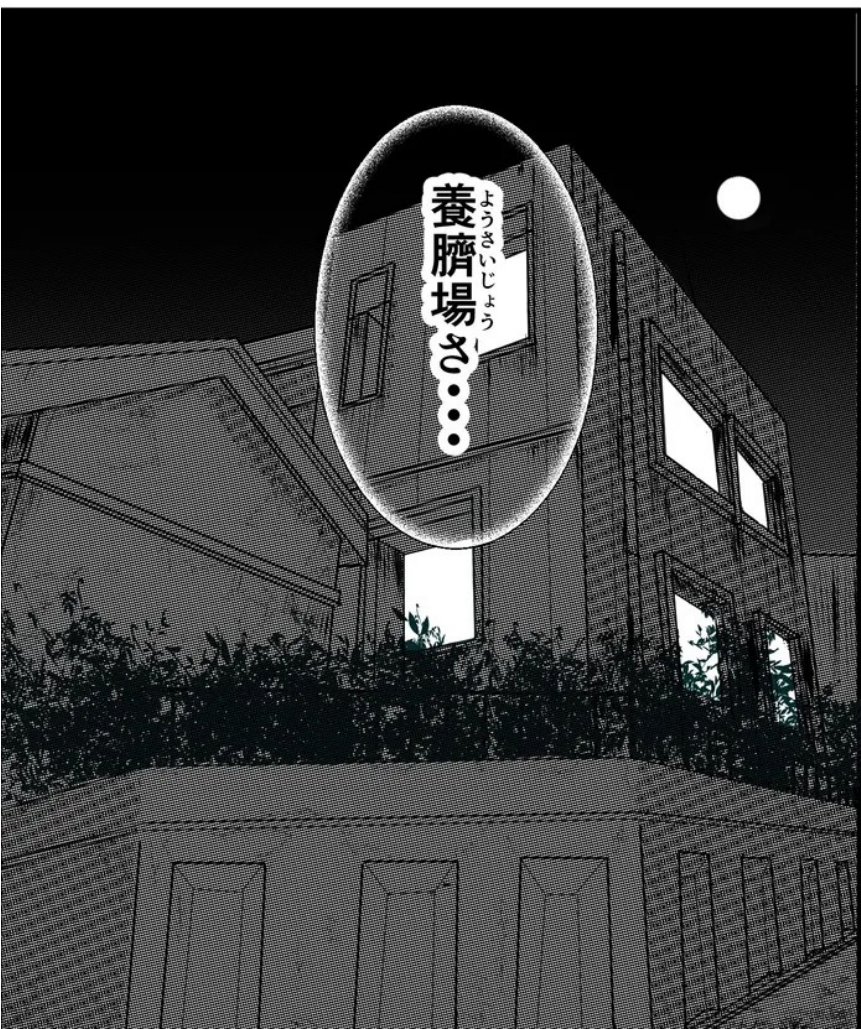
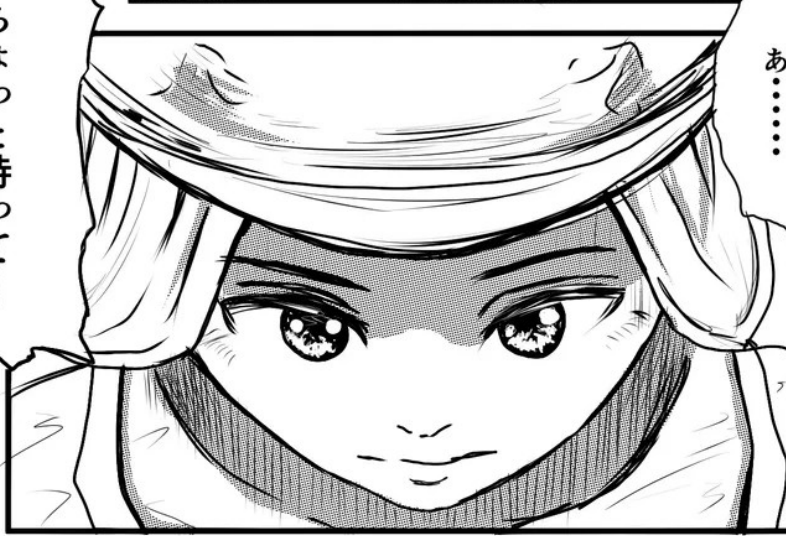
あいつ.....!



よし…



ちよつと待って!
ここはどこ!?



食用の
へそを養殖して
収穫、出荷までを行う
いわば食臍処理場さ

そう

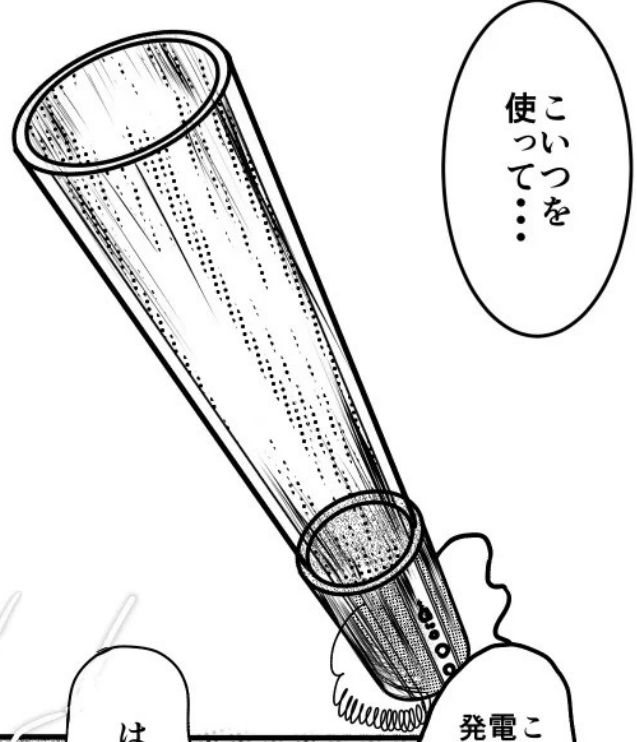


よ...
よう...さ...
い...?...



この「へそ種」と呼ばれる
こっちの世界の特殊な
植物の種子を
お前の腹に植え付ける...

「へそ」を養殖する...



こいつを
使って...



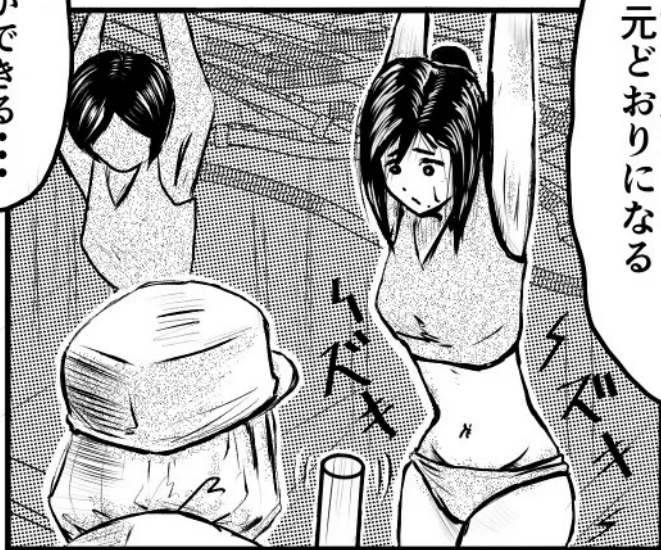
はうっ...

こうして...
電気を与えると
発芽するんだ...

いっ...!!

30

へそができる……



あとはほっとけば
すぐ見た目は
元どおりになる



これでよし……

元に戻り次第……
ああなる



ちなみに……

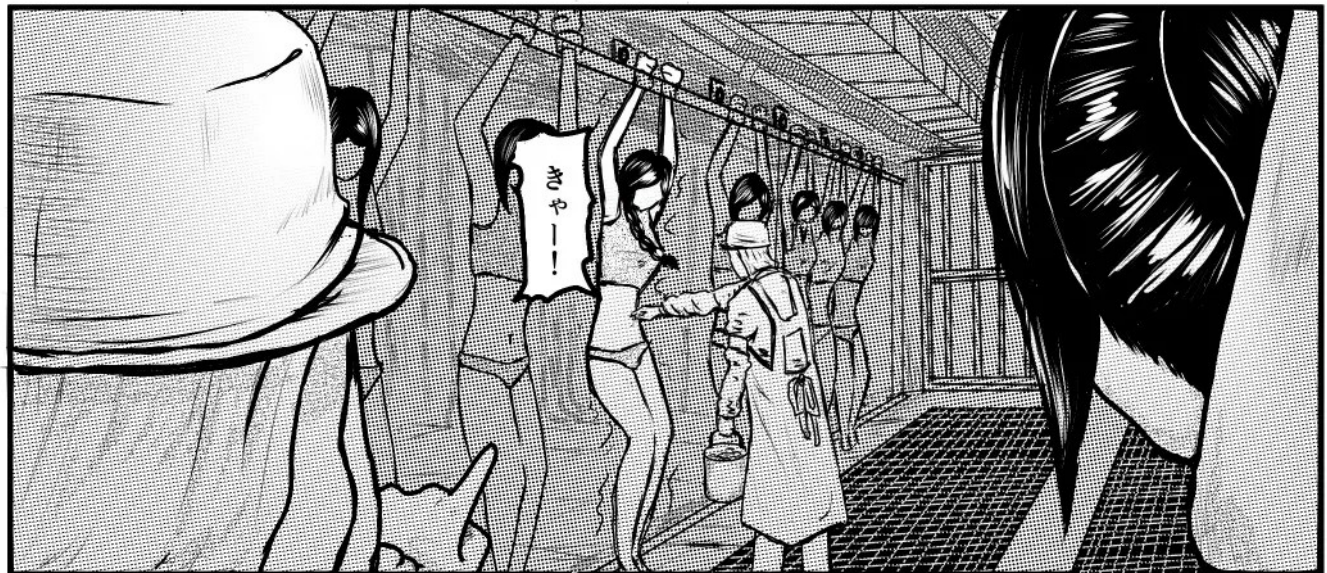


えっ……

ああ……



おへそ
元に戻るの!?

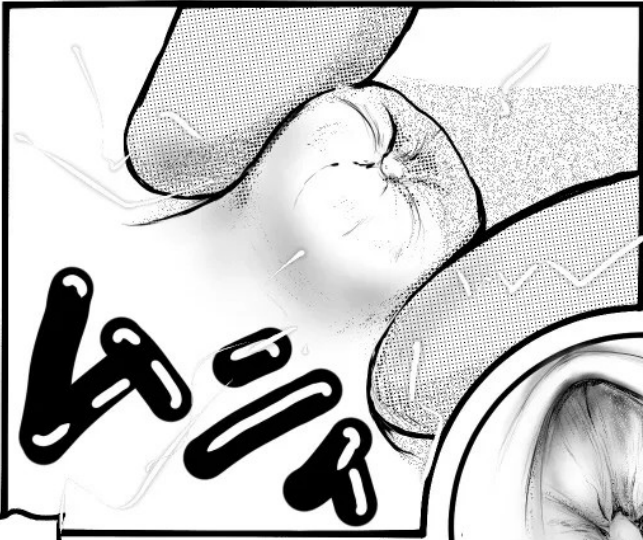


うっ……んん……
あっ……ぶう……



グイ

グイ



ムニムニ



あっ



また植えつけてを
くり返すのさ

ああやって
収穫しては……

うそ……



ハク

シュ

ポイ



私……
いつ帰れるの……

ただし……

ずっと取り続けてると
へそも味がだんだん
落ちてくるから……

お、ヤ、ヤ、ヤ、
はえてきた

ググッ…

再生するのに三日
かかるようになったら
終わりだな……
帰してやるよ……

メリメリ…

それまでは
上質なお前の
へそ……

たっぷり
収穫させてもらっ
からな……

それから

毎日何度も
おへそを収穫
されては……

また植え付けられ……
取られては……

植え付けられ……
どれくらい
続いたのだろう……

ホイ



そして
ある日……

その日は
やってきた

んー…

カツ

このへそは…
もう四日目か…

うん…
「打止め」…だな

コッ
コッ

おい

あなたの役目は
終わりだ

帰りな





やった...
やっと帰れる...

へび...
へび...



久々に
自分で触ってみな
へそ

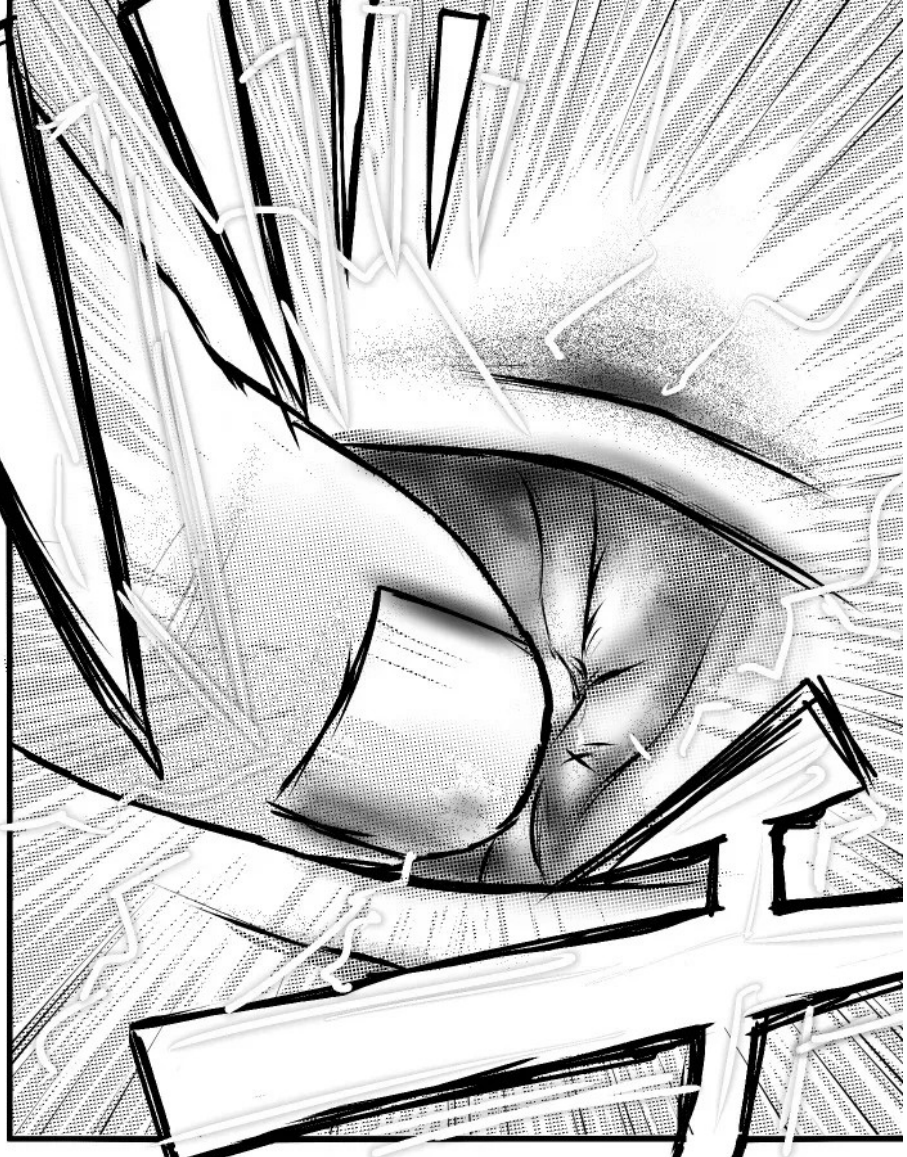


もう完全に
再生してるし



ソオ...

いっ……！



ははは

きゆう……

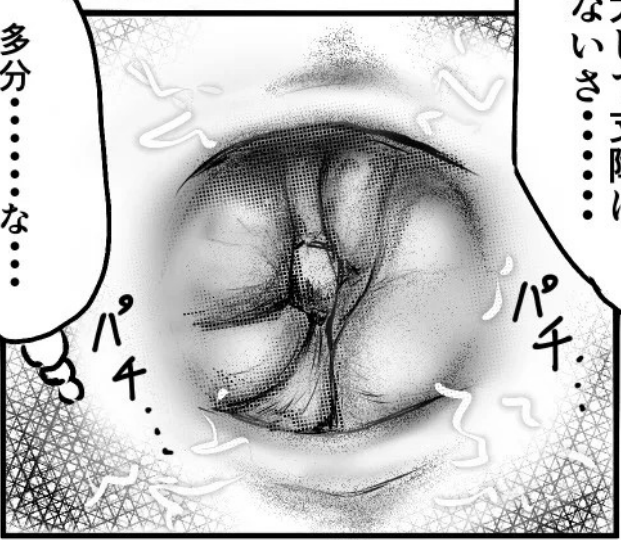
ビィ
ビィ

ビィ
ビィ

でも日常生活には大して支障はないさ……

多分……な……

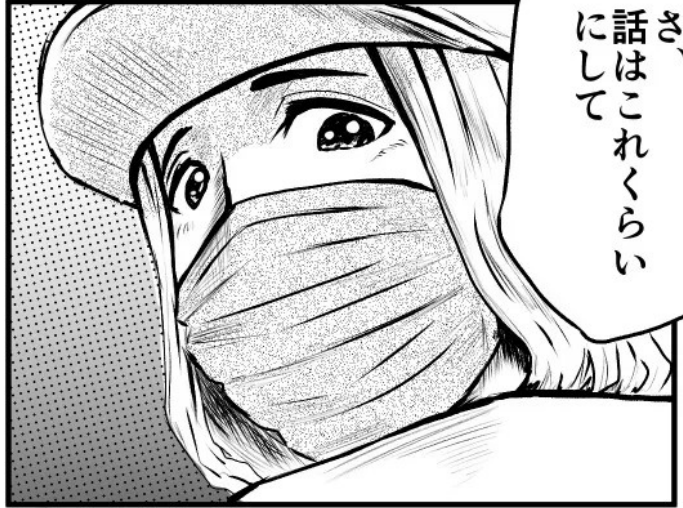
毎日何時間も電気浴び続けてたからな少しばかり溜まってるかもしれない



あんたを
送り返すから



さ、
話はこれくらい
にして

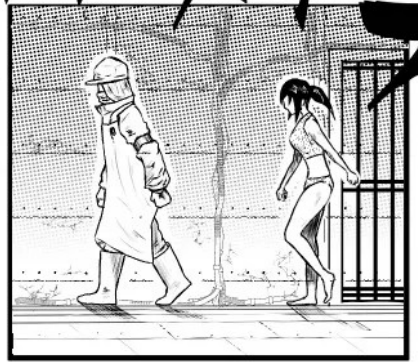
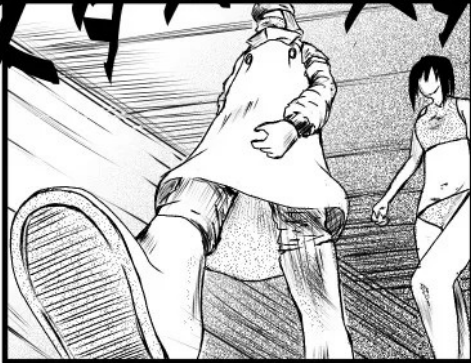


ついてきな



くるっ

ズタズタズタズタズタズタズタズタズタ



こっちだ



地下だ……

カッ
カッ



カッ

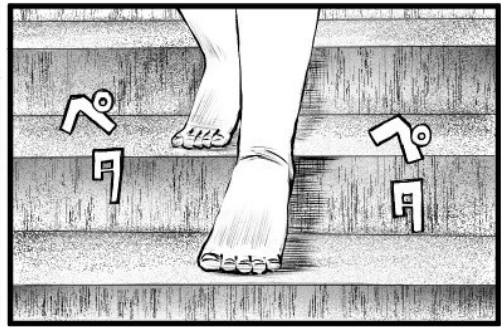


ち……

ゴッ

ク

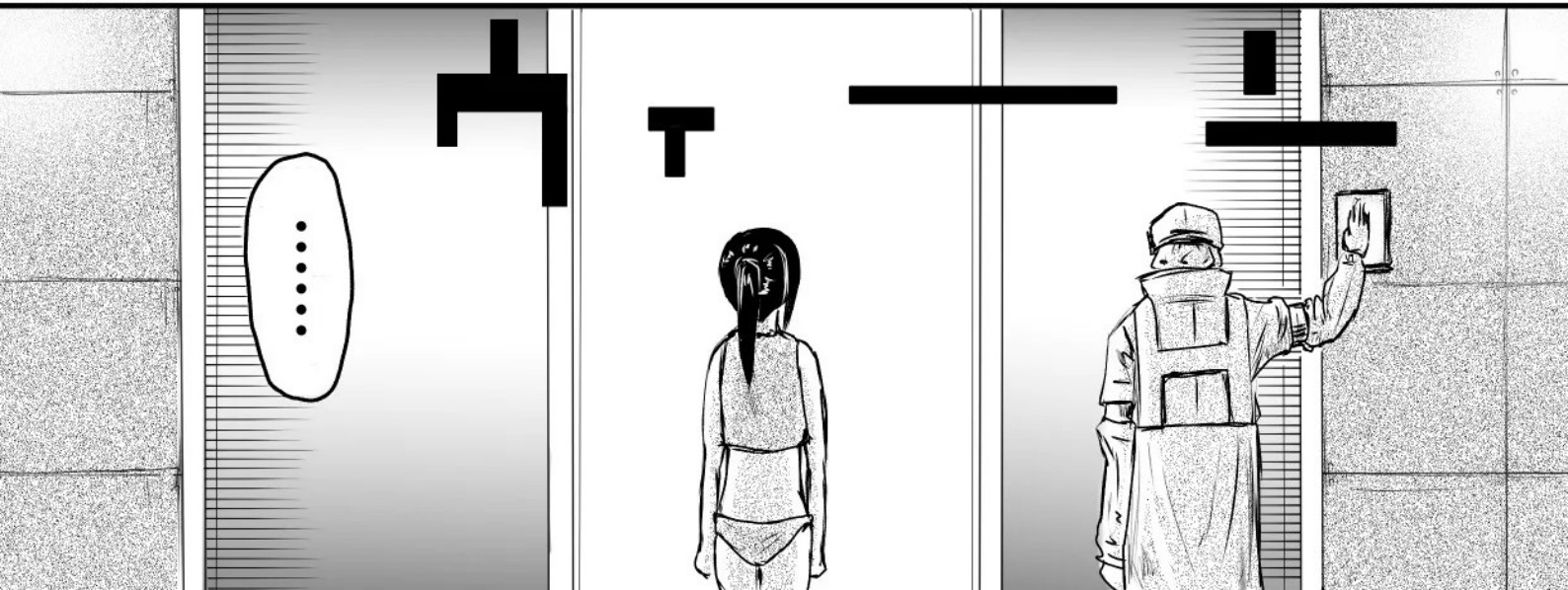
どこまで
降りるんだろう……





一応
言っておくが

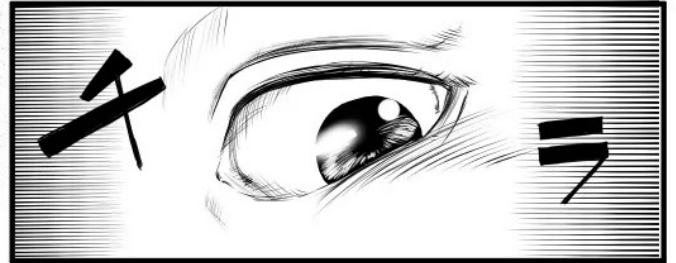
ずいぶん
嚴重……



たとえば……



食用として
適さなくなっ
た
へそでも……



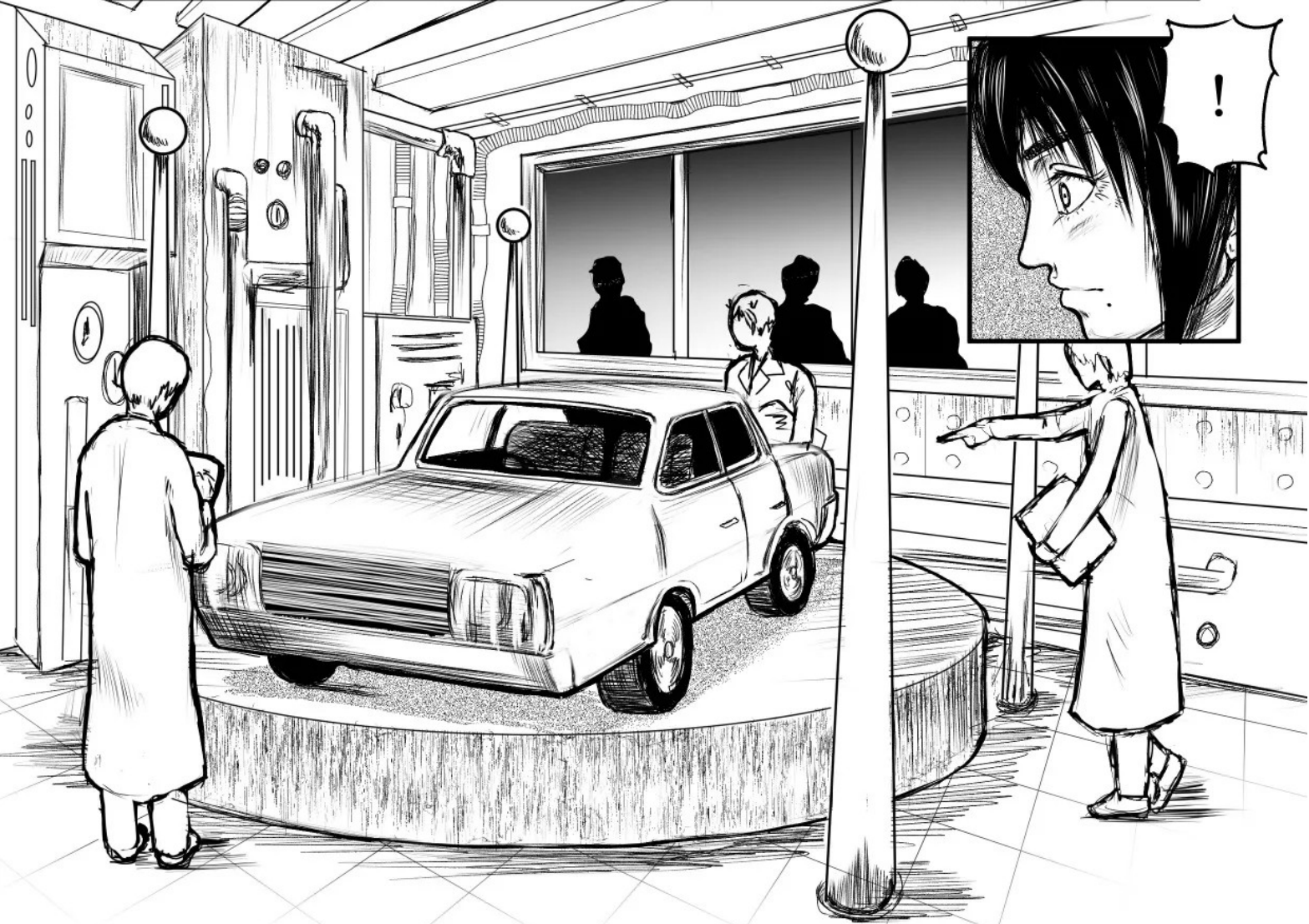
薬や
発酵食品
干物なんか
にしたら
問題なく
使えるん
だよなあ……

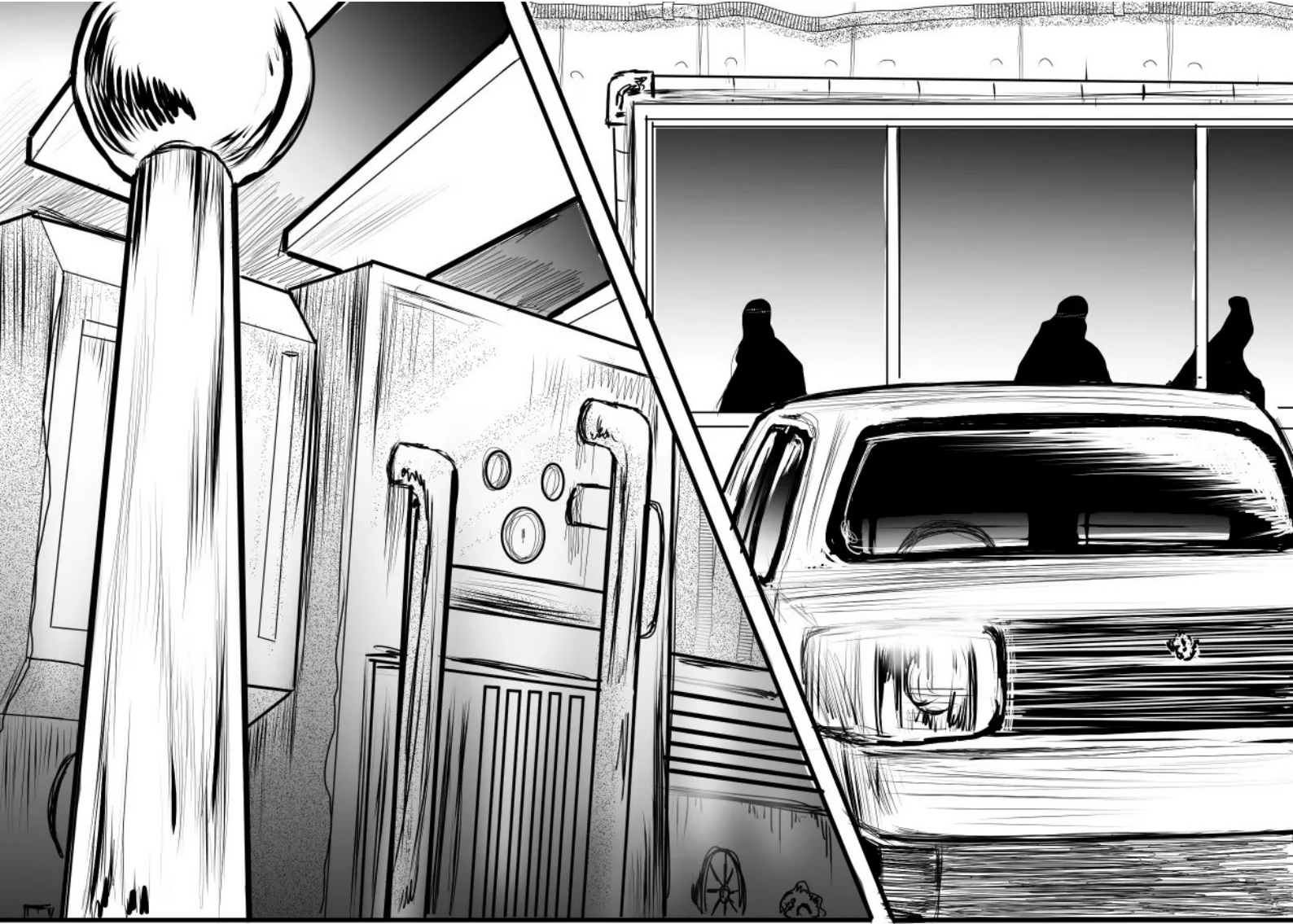


さ、
行くぞ



!





あれに
乗って
帰る



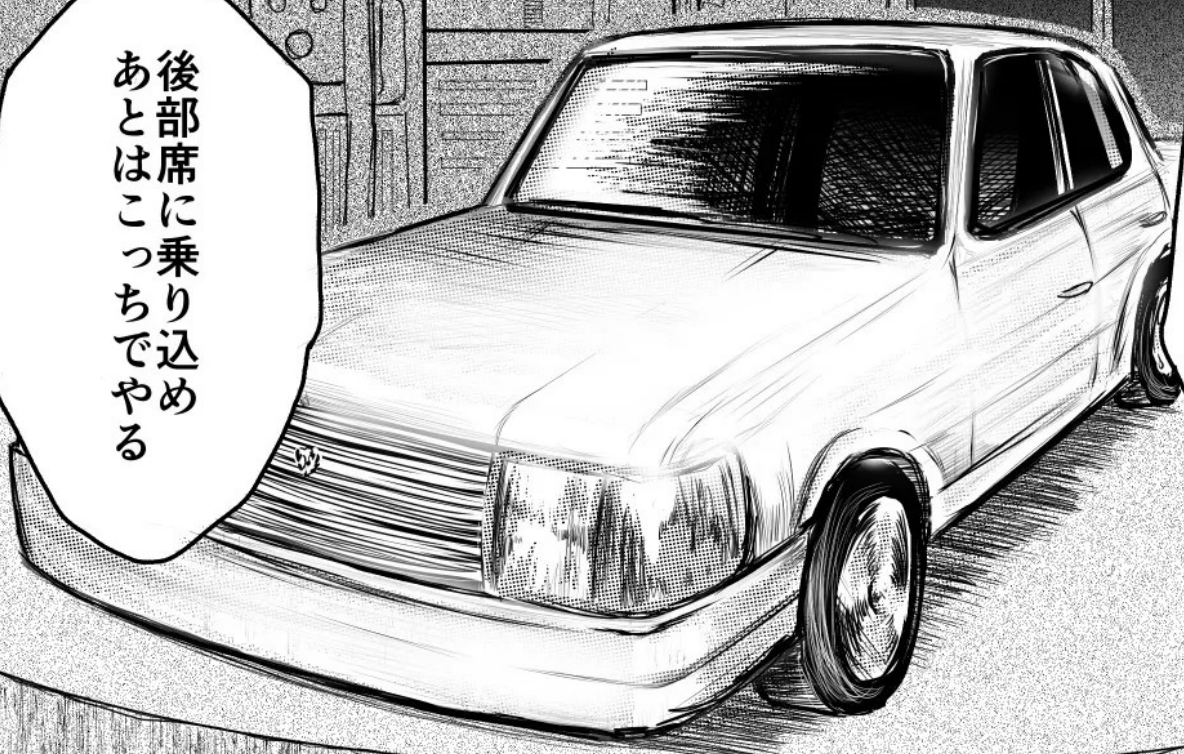
あれだ



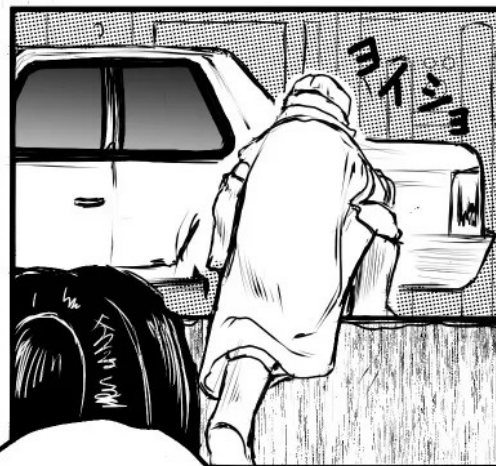
.....

こちらの世界と
人間界をつなぐ
唯一の交信機だ……

後部席に乗り込め
あとはこっちでやる



上がりな

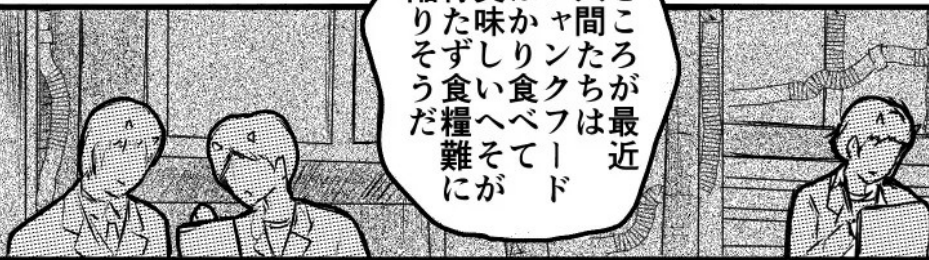


今まで助かった
ありがとうな



この世界では
お前らの『へそ』って
のは物によって
主食でもあり
高級食材でもある

ところが最近
人間たちは
ジャンクフード
ばかり食べて
美味しいへそが
育たず食糧難に
陥りそうだ

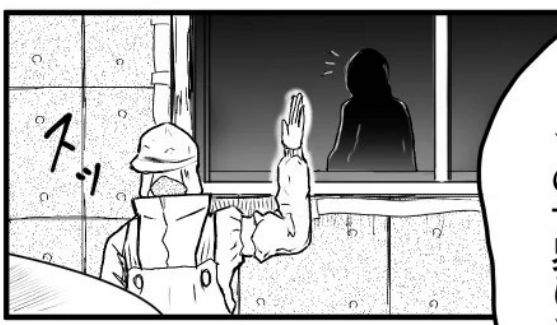


お前みたい
健康的で美味
しいへそを
持った人間が
本当に減って
しまったよ……

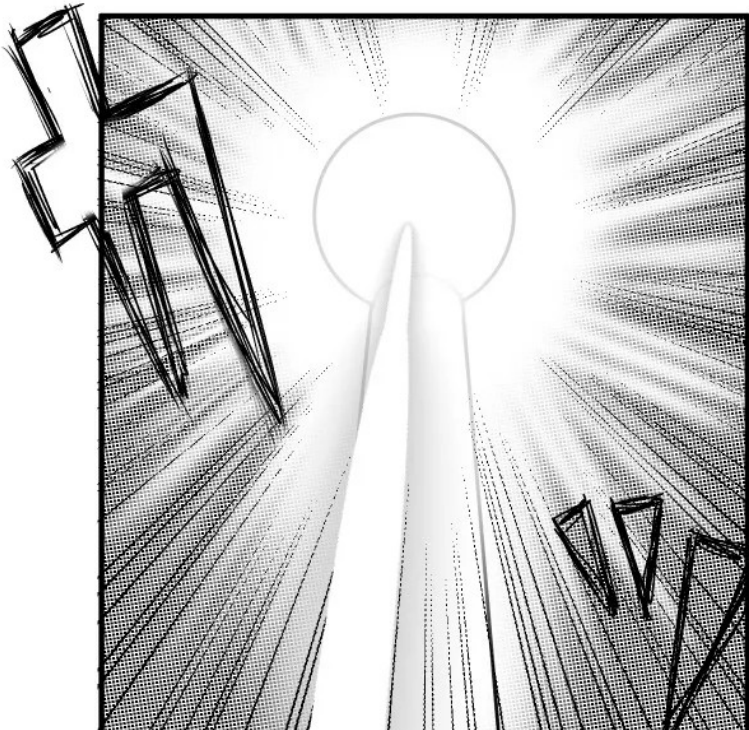
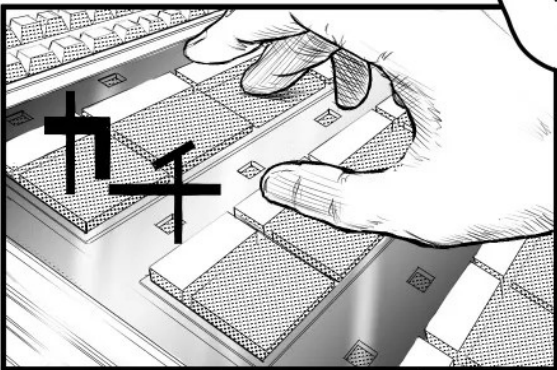
さ、
早く乗りな

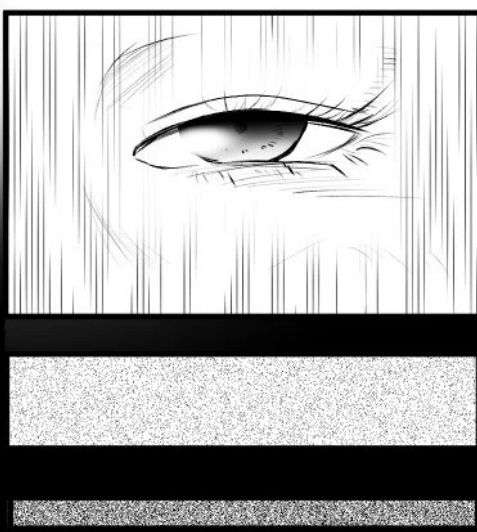
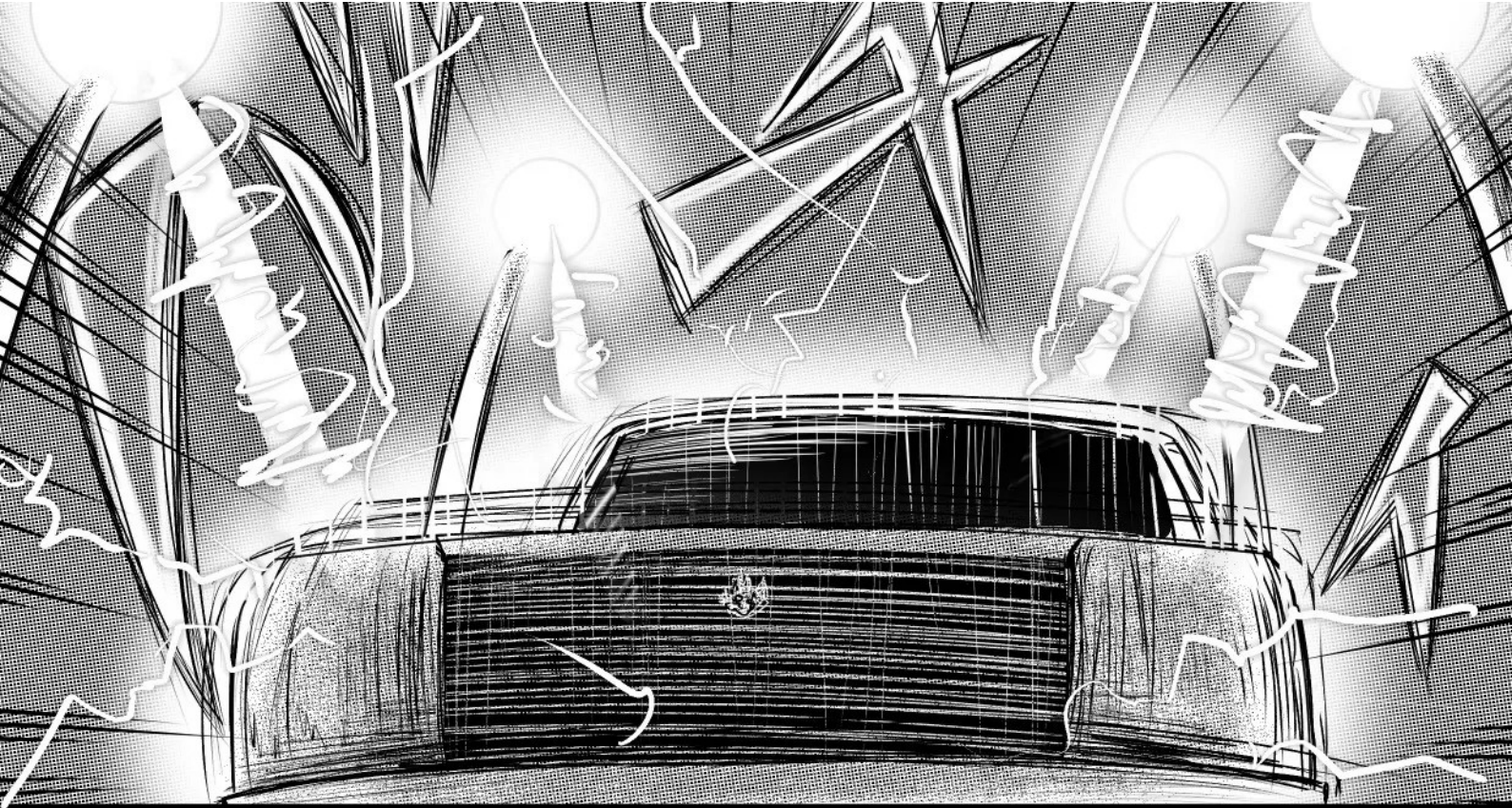
ちよ……





へそがしつかり
座ってくれば
また読んでやるよ
こっちの世界にな...







……

お客さん





料金は…

遅くまで大変ですね…

あっ
はい…



こ…って…



学校の
最寄り…？



そうだった…
レポートに
手間取って…

キヤリン

最終の
バス
逃しちゃったん
だっけ…

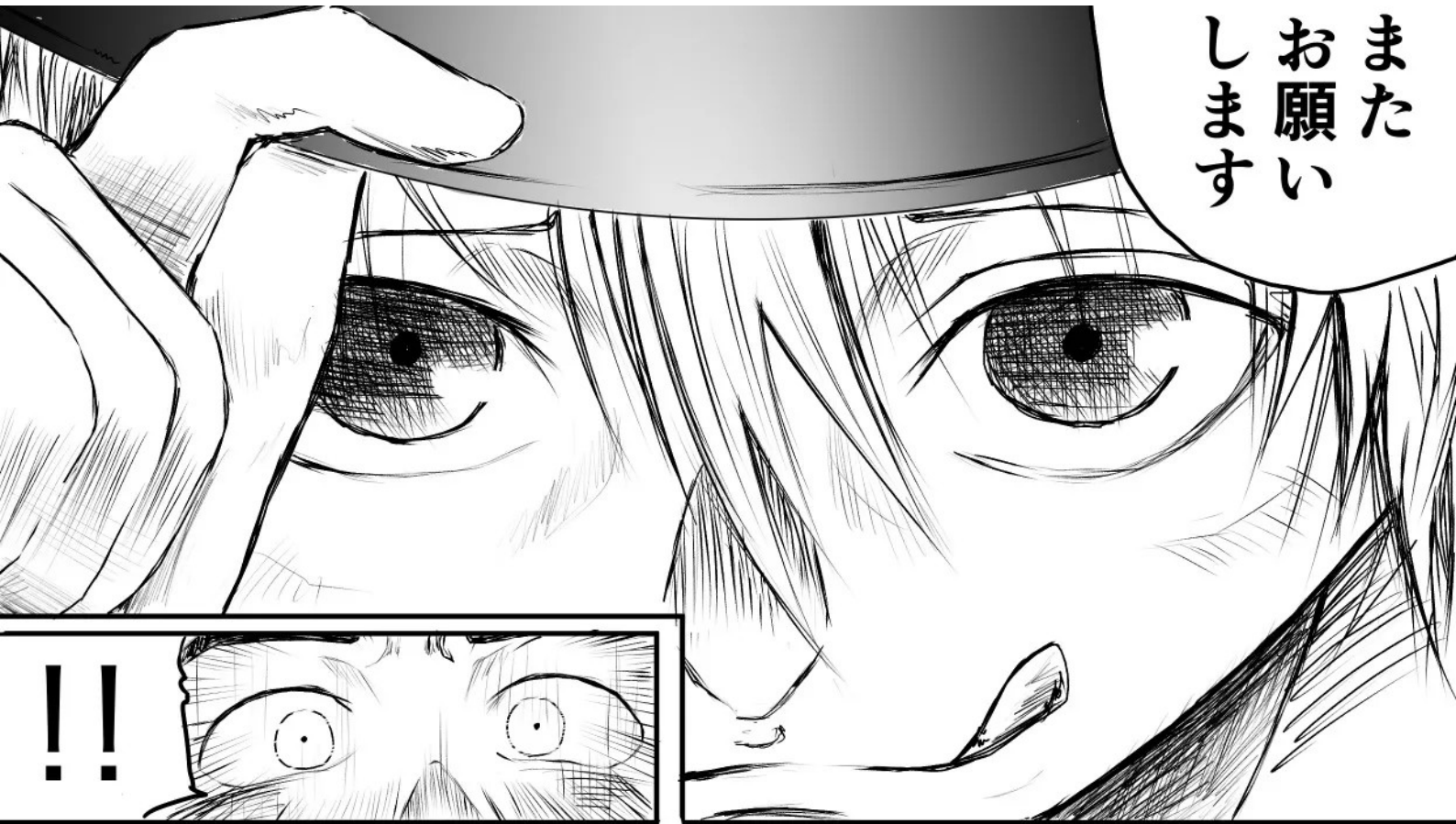


どうもありがとう
ございました…



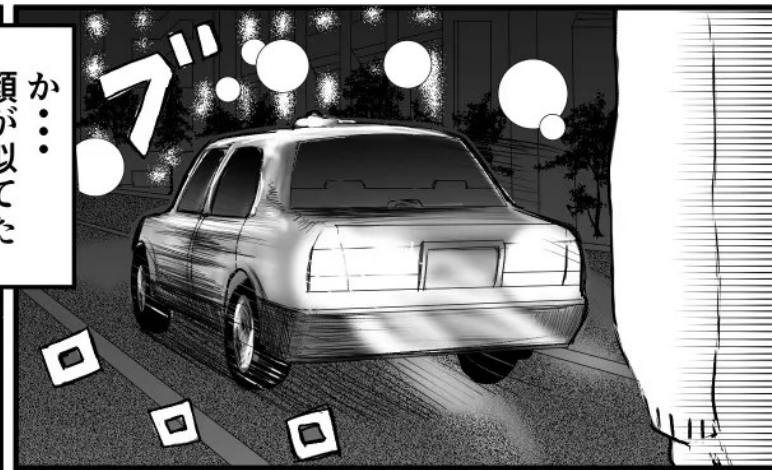
それじゃあ
今までの夢…
って事だよ…？

また
お願い
します



気のせい……
だよ……?

か……
顔が似てた
ような……



とっ……
とにかくここじゃ
服もまくれないし

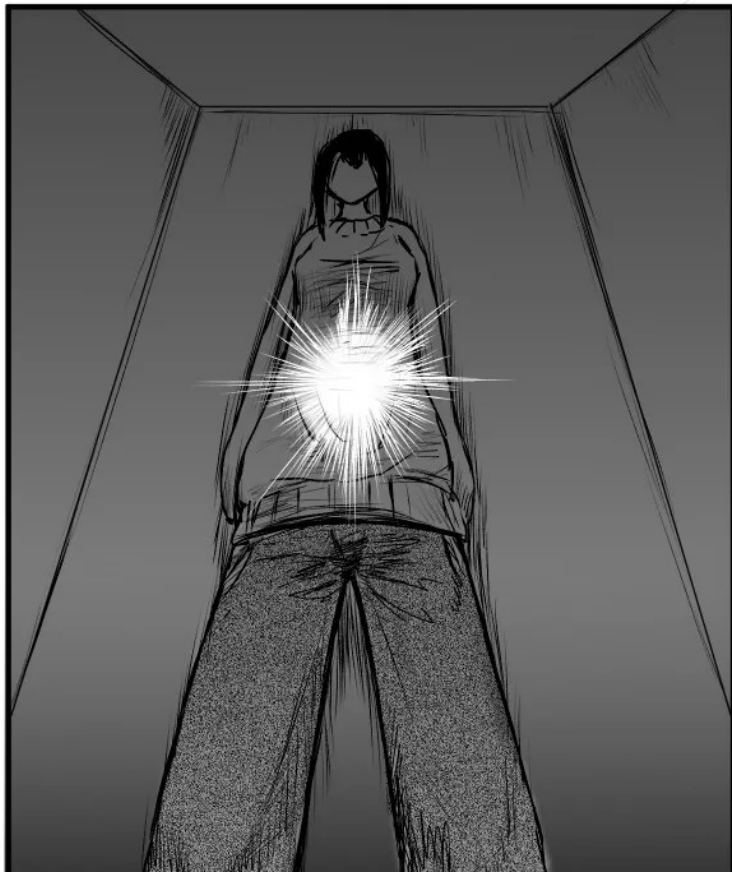
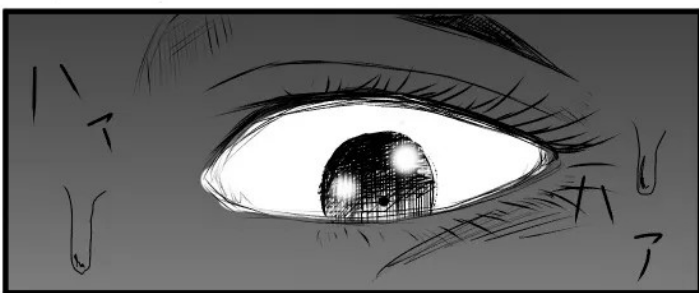
！！！！

何だったんだろ
今までの...



ちゃんと...
ついてるよね
...?

そうだ...!

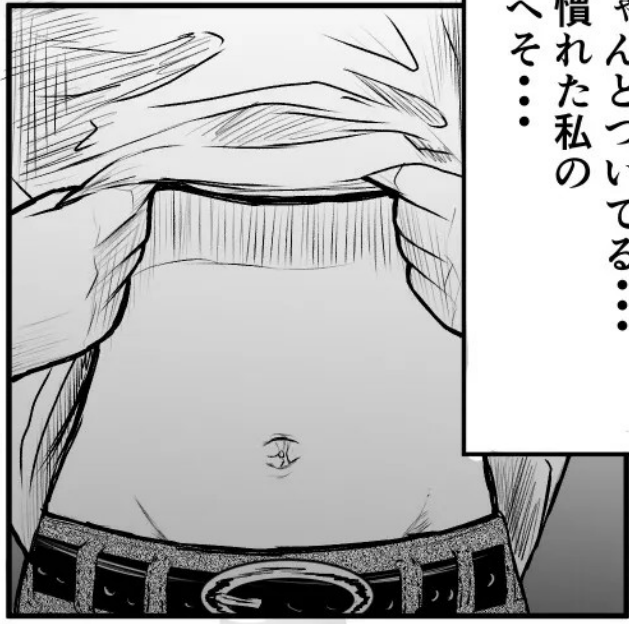




よかった
ちゃんといっている…
見慣れた私の
おへそ…



あの日から
全く
進んでない…



今日はもう…



早く帰ろう…

ポツ

ポツ

ポツ

カッ

